

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

果樹園芸作物を使った屋内型「立体庭園・農園」の開発およびブランド化

果樹の矮化植物や四季折々の植物を使用した、固定式／移動式の屋内型「立体庭園・農園」の製造・販売を行う。

連携体

農林漁業者

富久樹園（果樹作農業）

果樹の矮化技術・植物の成型技術等を活かして、四季折々の植物の栽培に取り組み、安定供給に努める。

中小企業者

株式会社しみづ農園（造園工事業）

屋内型の固定式／移動式の「立体庭園・農園」の開発・販売を行い、あわせてメンテナンス体制の構築に取り組む。

連携参加者

ライト企画株式会社（娯楽用機械製造業）

しみづ農園とともに「立体庭園・農園」の躯体開発に取り組み、躯体の製造や営業活動の支援を行う。

サポート機関等

(財)群馬県産業支援機構、(独)中小企業基盤整備機構関東本部

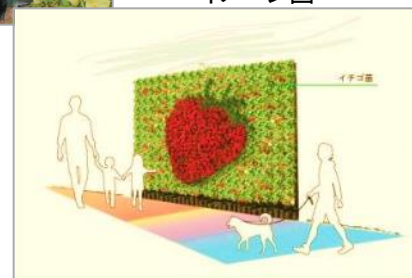
連携の経緯

株式会社しみづ農園は、以前から立体花壇の開発を進めていたが、顧客の要望に応えるには、様々な特徴を持つ植物を使用する事や、特殊な設置条件でも、植物を美しく保つ技術などが必要であった。一方富久樹園では、高い栽培技術を活かした商品開発や、販路開拓を経営課題としていた。この両社の思いが合致し、今回の連携に至った。



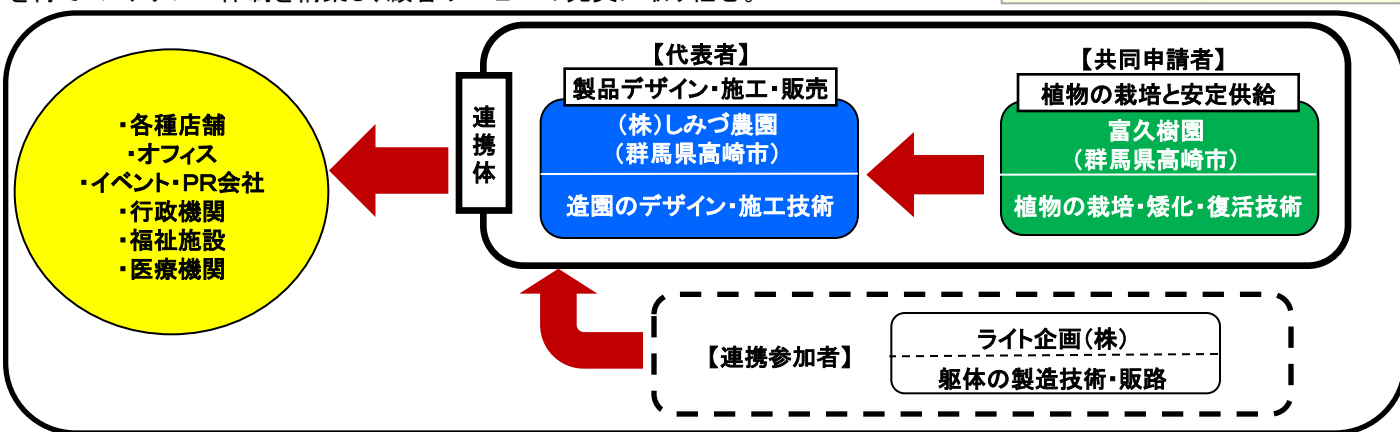
富久樹園

立体庭園・農園
イメージ図



連携に当たっての課題や工夫等

屋内緑化には、使用植物の種類拡大や衛生面等多くの課題があるが、富久樹園では、矮化技術や整形技術等を活かして、四季折々の様々な植物の栽培を行い、安定供給に努める。株式会社しみづ農園は、これら植物の特性を活かした、固定式・移動式の「立体庭園・農園」の開発・販売を行う。また、両社とつながりがある各地の農業者の協力を得てメンテナンス体制を構築し、顧客サービスの充実に取り組む。



連携による効果

農林漁業者

5年で1,200万円の売上高増加、利益率の向上

果樹の矮化植物など高付加価値植物の安定供給に努めることで、収益率の向上による農業経営の安定が期待される。

中小企業者

5年で4,095万円の売上高増加、利益率の向上

固定式／移動式の屋内型「立体庭園・農園」の販売に取り組むことで、売上の増加と利益率の向上が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社しみづ農園
TEL：027-352-2244
E-mail：mail@shimidzu.jp

所在地：群馬県高崎市柴崎町1563
FAX：027-352-2236
ホームページ：http://www.shimidzu.jp/